

博士前期課程(修士) / 実践看護学領域 / 老年看護学分野
科目コード:250009

高齢者ケアシステム論 Care System in Elderly

担当教員	北村言				
実務経験					
開講年次	1年次後期	単位数	2	授業形態	講義・演習
必修・選択	選択	時間数	30		
Keywords	介護保険、国外の高齢者ケアシステム、連携システム、小規模多機能施設、制度への働きかけ、認知症の地域支援				
学習目的・目標	《学習目的・目標》 高齢者を支える介護保険制度成立の背景とその後の改正から日本の現状を理解し、国外の高齢者ケアシステムの現状や研究報告をふまえ、今後の日本の高齢者施策を提言できる力を養う。				
授業計画・内容					
《授業展開の方法》 ・日本の介護保険制度と国外(欧米やアジア等)の高齢者ケアシステムを学び、日本のケアシステムの課題を理解する。 ・高齢者ケアシステムに関連する研究論文の抄読を通して、今後の可能性について討議する。					
回	内容			授業方法	担当
1-2	ガイダンス 日本における高齢者ケアシステムの現状を学ぶ ・人口動態、社会・経済構造の変化と関連させて介護保険制度成立の意味を学び、その後の改正を理解する			講義・討議	北村言
3-4	・国内外の高齢者に対する支援ケアシステムの現状を学び、日本における課題を考える。			講義・討議	北村言
5-7	一般病院～在宅の連携におけるケアシステムを学ぶ			講義・討議	北村言
8-10	認知症高齢者におけるケアシステムを学ぶ			講義・討議	北村言
11-20	高齢者ケアシステムの新たな取り組み(研究論文)			発表・討議	北村言
21-22	高齢者ケアシステムの課題と今後の可能性			討議	北村言
教科書					
参考図書等	適宜紹介する				
評価指標	討議への参加(30%)、発表(30%)、レポート(40%) *レポート提出締め切りは授業最終日の2週間後とする。				
関連科目					
教員から学生へのメッセージ	高齢者を取り巻く社会制度を理解し、今後どのようにしていくべきかを考えていきましょう。				